

ノーモア・ヒロシマ・ナガサキ・ヒバクシャ

核兵器全面禁止の声を圧倒的世論に

東日本大震災・福島第一原発事故から1年。3月11日を前後して、被災地の復興と、いまでも続く原発の被害にストップをかけ、ふたたび放射線被害をつくりださない決意と願いをもとに、さまざまな行動が全国各地で行われました。

私たちは、ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャと叫び続けてきた運動として、福島第一原発の事故で被災した人々を支援しています。危険な放射能汚染をこれ以上絶対にくり返してはなりません。そのために、エネルギー政策を原発依存から自然エネルギーへと転換させていくよう提唱しています。



潘基文国連事務総長が、

「核兵器のない世界を」とよびかけています

いま、核兵器全面禁止の声が、世界中の人々と多くの政府の共通の声となつてひろがり、「核兵器のない世界」の実現へ新たな展望をひらこうとしています。昨年12月の国連総会では、核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議が国連加盟国の3分の2を超える130の国々の賛成で採択されました。歴史的な対立を抱える中東でも、非核地帯条約実現をめざす国際会議を今年フィンランドで開催することが決まりました。潘基文国連事務総長も、70億人に達する人類の平和と安全のために、「核兵器のない世界を実現しよう」とよびかけています。

核兵器のない世界に向けて行動しよう

今月30日からオーストリアの首都ウィーンにて、次回、2015年核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて第一回準備会合が開かれます。

日本原水協は、次回NPT再検討会議の準備会合にあたり、すべての国の政府と市民社会に、核兵器全面禁止にむけて行動を起こすよう呼びかけ、ウィーン大学はじめ市内各地で、広島・長崎の実相を伝える被爆写真展を開催します。

この行動にあわせて、すべての都道府県で、「被爆写真展」を開きます。「核兵器全面禁止のアピール」署名ともあわせ、ぜひ、ご協力くださるようお願いいたします。(2012年4月6日)

※「被爆写真展」の開催情報などは日本原水協のホームページに順次掲載します。URLは<http://www.antiatom.org/>

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>